

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name	開講年次	開講学期	曜日・時限
ディスプレイ I Display I	2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格	履修上の制限
1単位	演習	選択	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目			
ファッション関連科目			
同時に履修しておくことが望まれる科目			
担当者に関する情報			
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟・3F		授業中に指示します
授業の概要			
ディスプレイテクニックは販売促進活動に必要なビジュアル・プレゼンテーションである。ファッション業界の婦人服・雑貨・コスメ関係のディスプレイテクニックを習得することを目指す。①ラッピング技術を身につけ②商品展示や陳列③仕器の使い方を学ぶことにより④テーマにあった演出ができるよう知識と技術力を身につける。			
授業の目標			
ショップディスプレイの用語を理解し、ショップレイアウトやディスプレイに関する基本的な作業・技術を身につけることができるようにする。店舗における即戦力として、企業から求められる人材をめざす。			
授業の方法			
資料と実際を見、演習をとおして、より実践的な理解を深める。教室内に、ショップコーナーを設け、ディスプレイ実習を行う。個人、またはグループでテーマにあったディスプレイを提案し、発表する。また、現場で学ぶことも組み入れる。			
学習の成果（学習成果）			
ショップのディスプレイ提案と商品解説を含めた提案力を身につけることができる。年間行事に沿ったテーマの提案発表をすることで、各人のスキルを高めることができる。			
授業のスケジュールと内容			
第1回目	ガイダンス ディスプレイの分野 基本の理解		
第2回目	ディスプレイの構成の基本、 マネキン・オブジェ・仕器の種類と使い方		
第3回目	商品知識、アイテム別（レディス・メンズ）・ファッション雑貨		
第4回目	ビジュアルプレゼンテーションテクニックの基礎、アクセサリ・婦人服・雑貨 [現場視察]		
第5回目	売り場のカラーとイメージ、色の配色とカラーコントロール、照明		[レポート]
第6回目	ライフスタイルと空間構成	[ディスプレイ提案図面作成 提出]	

第7回目	ラッピングの基礎（包み方・リボン結び）実習		
第8回目	ラッピングの応用（アレンジ）		[作品提出]
第9回目	ウィンドーディスプレイ・販売促進・テーマプレゼンテーション		
第10回目	ピンワーク、ラッピング、フラワーアレンジの応用、 ブライダルシーンの演出		
第11回目	応用テクニック（レディスウエア）吊る・ワイヤリング・テグスワーク。梅雨のシーズンディスプレイ演出		
第12回目	ギフトの空間演出		
第13回目	ディスプレイ表現発表のための構成案準備		
第14回目	ディスプレイ製作作業とプレゼンテーション、テーマ・展示物[展示発表]（個人・グループ）		
第15回目	ディスプレイ技術の講評 まとめ		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	20%	遅刻、欠席がなく、積極的に授業に臨み、作業や実習で仲間と力を合わせ、表現することができたか
	レポート		
	調査報告書	20%	現場に自ら出向き調査できたか。内容はしっかりまとめられていたか。
	小テスト		
	試験		
	発表内容（態度含む）	60%	完成度の高い内容で表現し、的確な表現で発表できたか。仲間とコミュニケーションを取りながらまとめられたか。
	その他		
教科書と参考図書			
ディスプレイ・VP・VMD（文化出版局）、ディスプレイのアイディアとテクニック（文化出版局）、その他写真等の資料提示			
履修上の留意点・ルール			
多くのディスプレイ展示に興味を持って、授業に参加することを期待する。			